

山林活用サービス

KATABAMI

山林の価値を再構築する

「かたばみ 山林部は、鹿島建設グループの山林管理専門の部署です」

日本全国に約6,100haの管理山林があり、森林整備を進めています。
その中の主要山林で国の認証を受け、カーボン・オフセットに取り組んでいます。

山林購入サポート

■ 山林購入の流れ

① 購入条件のヒアリング

■ 購入の目的

- ・カーボンクレジットを取得したい
- ・SDGs・ESG投資の一環として検討したい
- ・レクリエーション、福利厚生のかたばみとして活用したい 等々

■ 購入希望地域

かたばみのネットワークで全国ご希望エリアの山林をご紹介します。

■ 購入希望面積

数ha～数百ha規模までご対応いたします。

② 山林物件のご紹介

ご希望条件と予算規模に応じた山林をご紹介します。条件によっては、しばらくお時間をいただく場合があります。

③ 現地ご案内

④ 山林管理のご提案

購入後の山林管理についてもご対応いたします。

⑤ 山林評価額ご提示

⑥ 境界確認

⑦ ご契約

ヒアリング～ご契約まで、条件にもよりますが、数ヶ月～1年くらいの期間が想定されます。



■ 山林売却サポート

■ 山林評価買取りの流れ

- ① 所有情報・森林情報の確認
- ② 山林物件の現地調査
- ③ 山林購入希望者マッチング
- ④ 山林評価額ご提示
- ⑤ 境界確認
- ⑥ ご契約



全国の山林に対応いたします。
山林売買経験豊かな森林評価士がご対応いたします。

山林活用のご提案



■ ご相談例

- ・ **ほとんど放置してある山林があるがどうしたらよいのかわからない。**

森林情報の整備、ご所有山林の確認、ドローンを活用した森林資源把握から、その山林に適したご活用方法の提案まで、山林に関わることは何でもご相談可能です。

- ・ **木材生産以外での活用方法を検討したい。**

カーボンクレジットの取得や森林レクリエーションでの活用のご提案など、木材生産以外にも様々なご提案をすることが可能です。かたばみは森林管理、森林計測、森林サービス、林業、植生、造園と山林に関する知見を横断的に有しています。

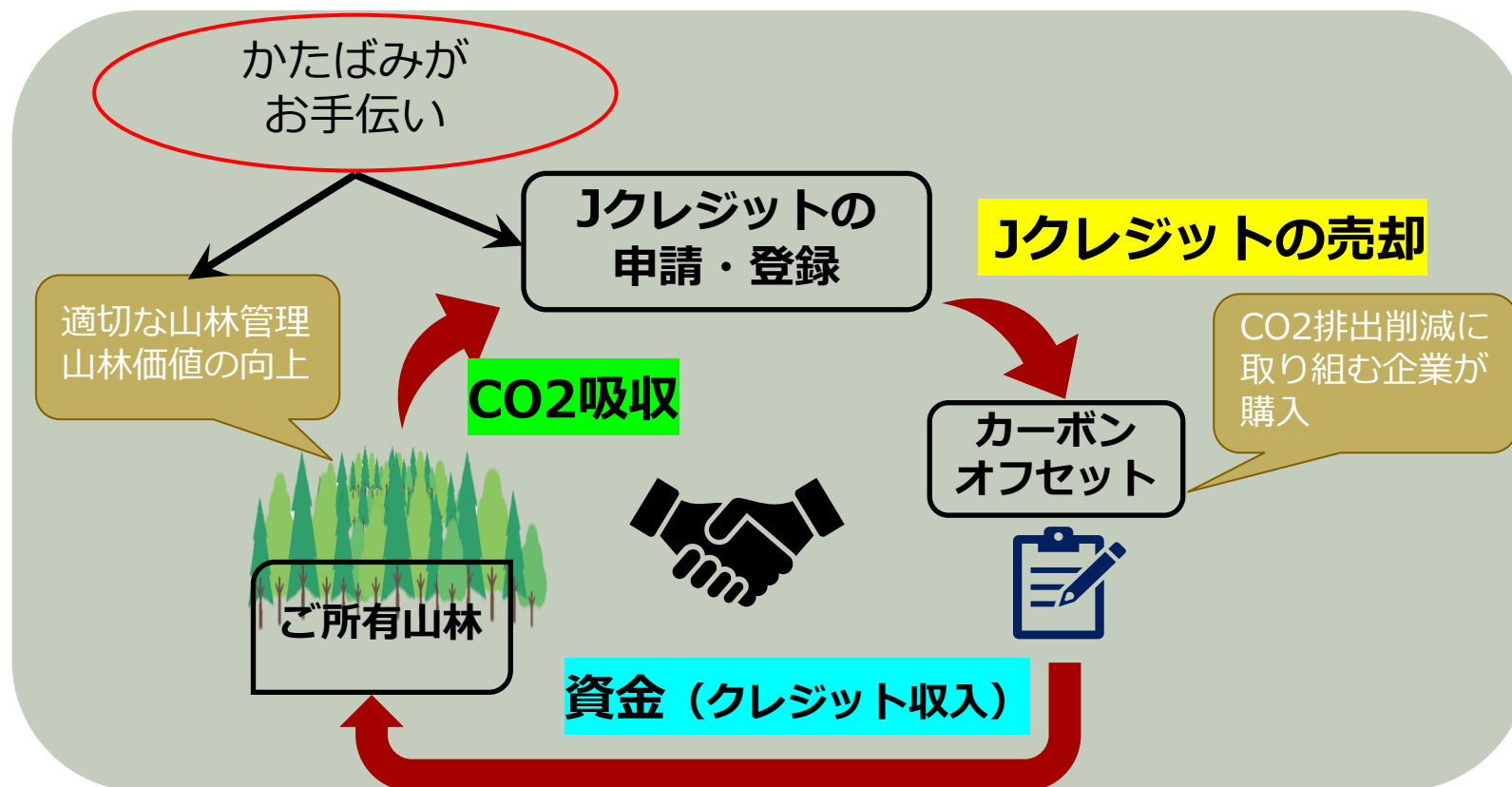
- ・ **木材生産を検討したいが、どこに相談すればよいのかわからない。**

木材生産のために必要な計画立案も承っております。森林作業道の開設計画や原木搬出コスト計算、間伐や皆伐施業における山林収支の積算などのご依頼やサポートにも対応いたします。

■ 森林吸収によるJクレジット取得のご提案

Jクレジット制度とは

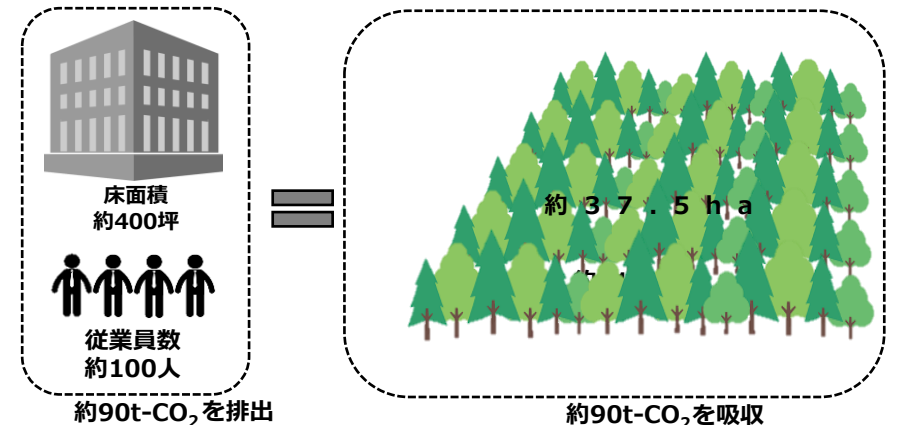
省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO₂等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO₂等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。



CO₂排出量と吸収量の関係は？

従業員数100人程度の会社では、オフィスからCO₂を年間に約90t-CO₂※¹排出しています。一方、森林のCO₂吸収量は、40年生のスギの場合、1ha（ヘクタール）で年間に約2.4t-CO₂※¹といわれています。

つまり、従業員数100人程度の会社では、オフィスから約37.5haの森林が1年間で吸収する量のCO₂を排出していることになります。 ※¹ 排出係数と電気・ガス使用量より試算 ※² 林野庁



カーボンオフセットの例

- ✓ 建設現場から
- ✓ 事務所で間接的に
- ✓ 製品の製造過程で
- ✓ 車の使用によって

排出されるCO₂をオフセット

- 社有車や重機から排出されるCO₂をゼロに!!
- 商品に付加し、PRポイントに!!
- 環境にやさしい会社のアピールに!!
- イベントで排出されるCO₂をゼロに!! 他

■ 実施プロジェクト

北海道の生物多様性などにも寄与する美しい森づくりを行い、現地での同様の取組の促進や雇用の維持促進にも貢献しています。

[北海道・穂別山林の森づくりプロジェクト] クレジット番号: JVR0186 クレジット量: 約1,800 t-CO₂

[北海道・尺別山林の森づくりプロジェクト] クレジット番号: JVR0244 クレジット量: 約3,200 t-CO₂

※クレジット量は、2022年10月時点での保有量

Jクレジット取得の流れ

森林経営計画書

地目が山林、保安林が対象
計画書の有無、策定無しの場合はまずは、計画書を市町村へ提出。

各林小班森林情報確認

策定有りの場合は、樹種、林齢、面積、施業履歴のまとめ

吸収量情報確認

地位※1、各地域の生長量（収穫表※2）のまとめ

※1 立地や環境条件の違いによる林地の生産力を示す基準
1～3級（1～5級）で表示。1＞3

※2 1haあたりの森林における本数、材積、生長量等の標準的な値を
林齢5年ごとに表示した図表。

地位の特定

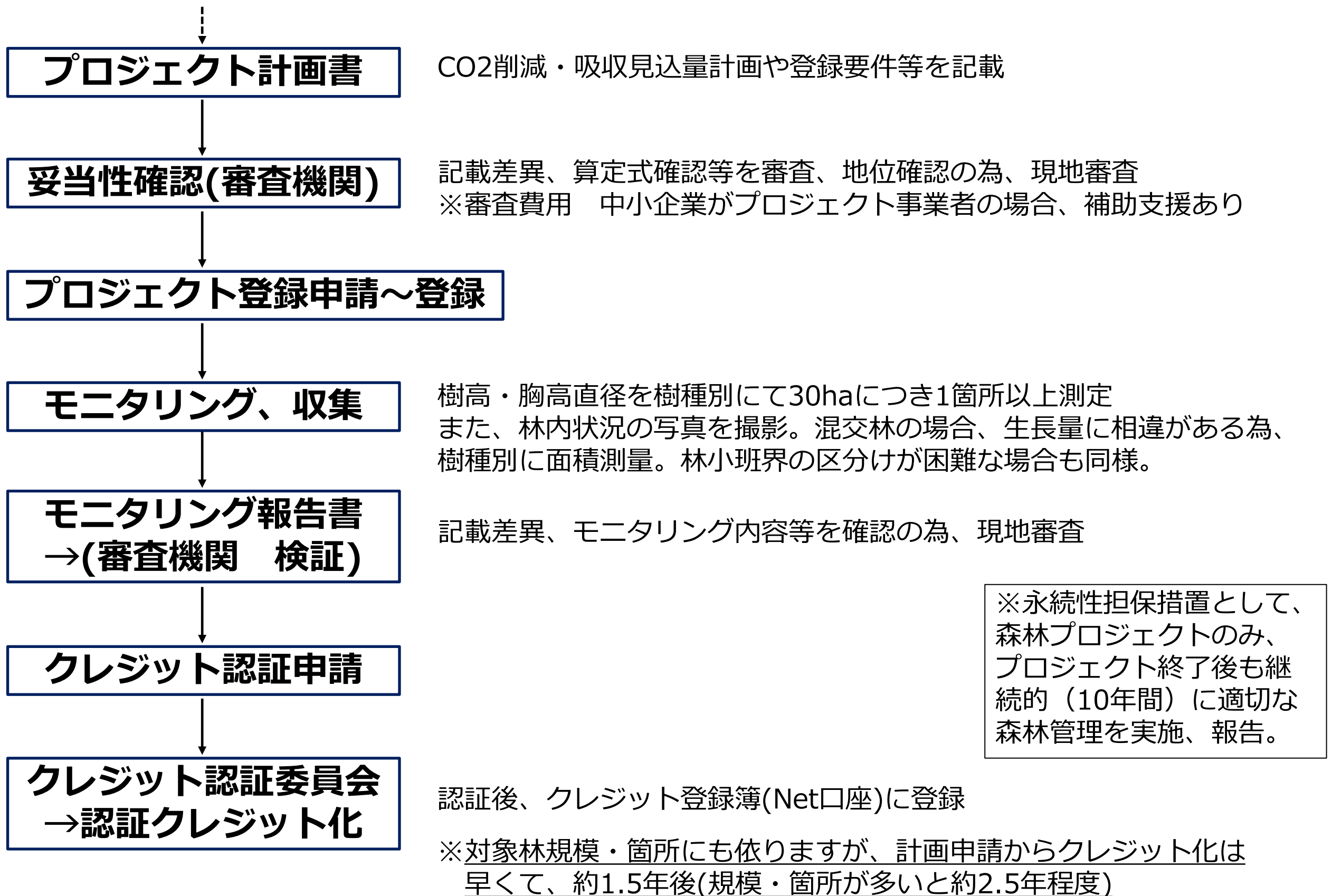
現地の樹種、林齢及び上層木樹高の値を使用するため、従来は現地調査が必須。2021/8/31に制度改定がされ、「航空機・ドローンによるレーザー・写真による調査」データを使用して地位特定が可能。
今後はデータが整備されている箇所については地位特定にかかわる現地調査を省略。

吸収量算定

都道府県別収穫表

各都道府県の林業試験場や県の林業部門が作成した収穫表。
Jクレジット制度は保守的制度、事務局も此方を推奨。

Jクレジット取得の流れ



是非 お問い合わせください

- ・ 山林から取得できるCO₂の具体的な数量を知りたい
- ・ ドローンでの立木計測を行い、森林資源量を把握したい
- ・ 長期にわたっての山林活用循環計画を作成したい
- ・ 山林購入やカーボンクレジット取得に必要な費用を知りたい

上記をはじめ、ご要望に応じて、柔軟に対応させて頂きます。お気軽にご相談ください。

お問い合わせ (株)かたばみ 緑化造園本部 山林部

TEL: 03-5413-8110

受付時間：9:00～17:00
(土日祝日、弊社所定の休日等を除く)

E-mail: info-forest@katabami.co.jp

KATABAMI

株式会社かたばみ
〒107-8638 東京都港区元赤坂 1-5-8